

虫明焼

MUSHIAGEYAKI

作品カタログ

お土産、記念品、日常使いに…

岡山藩筆頭家老、伊木家御庭焼として始まり、約300年ほどの歴史がある虫明焼。代表的な若草色や枇杷色のおとなしい飽きの来ない色調が魅力です。全国の愛好家に親しまれています。京焼の流れを汲み、他にも様々な色合いの作品を手がけています。温かみのある器をお土産や記念品、日常使いなどにいかがですか。

作品のご紹介(抜粋)

窯元ギャラリーをはじめ、ホームページのオンラインショップ、ANAクラウンプラザホテル岡山など各所(裏面参照)でお買い求めいただけます。ご予算に合わせた特別価格での提案も可能です(お見積りは無料)。お電話やホームページからお気軽にご相談ください。掲載作品は一例です。



灰釉四方青線文花入

サイズ/18.8×25.5cm

黒井千左 作

小石の入った荒土を使い、上は丸く、下は四角く線が入ったフォルムです。口縁付近には紅色と青白い釉薬が薄ら掛かり、青い線模様が目を引きます。土味と深みのある若草色、土見せがマッチした花入です。



六色象嵌緋色花器

サイズ/33.3×33.9cm

黒井千左 作

紅い緋色が美しく、胴の中央部には線状に表面を彫って削り出し、緋色の濃淡の違う六色の異質の土を紐状にして埋め込んで仕上げています。広口のすっきりとしたフォルムに緋色や象嵌など見所の多い花器です。



灰釉練込フリーカップ

青・紅各1個

サイズ/7.3×10.3cm

黒井博史 作

下地は3種類の土を練り込み、マーブル状の模様が透明釉と相まって、カラフルなカップです。コーヒー、紅茶、ビールなど様々な用途にお使い頂けます。



荒土灰釉緋色茶盃

サイズ/11.5×11.3×8.9cm

黒井千左 作

小石の入った荒土を使い、手練りで成形しています。表面に不規則なヘラ目を入れて、ざんぐりとした質感と変化のあるフォルムを作り出しています。松の灰釉による若草色や枇杷色のおとなしい色合いと正面に流れる青白い釉の動きと土見せの緋色がマッチした茶盃です。



釉彩フリーカップ

緑・紅各1個

サイズ/7.3×10.3cm

黒井博史 作

このカップは上部に虫明伝統の松の灰釉、下部はコバルト釉を掛け、その上に上部と同じ灰釉が掛かっています。深みのあるコバルト釉におとなしい若草色もしくは紅い色合いがよくマッチしていて、色の境目のグラデーションが奥行きを深さを感じさせます。コーヒー、紅茶、ジュース、ビールなど様々なシーンでお使いいただける万能型のフリーカップです。



灰釉彩色象嵌梅の絵皿

サイズ/25×23.5×4.5cm

黒井千左 作

土台となる土を彫って色土埋め込み、グラデーションで色の濃淡を表現しています。素焼をした後、鉄絵の具で梅の絵を置き、虫明伝統の透明な釉薬を掛けて焼成しています。優しい色合いと梅の絵がよく合っています。料理や茶菓子、果物を盛り付けたり、インテリアとして最適です。



灰釉彩貫入盃(小鉢・青)

サイズ/9.5×4.1cm

黒井博史 作

透き通ったブルーが印象的な盃です。お酒だけでなく、あてや前菜、餡など様々な用途にお使い頂けます。他にも黄緑、ヒスイ、透明など様々な色の作品があります。



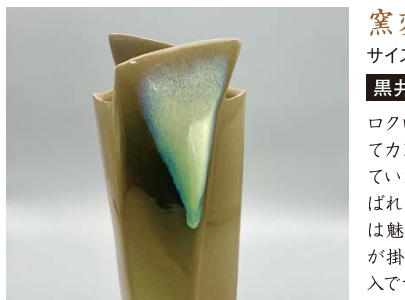
コーヒーカップ&ソーサー

サイズ/

9.5×6.8×7.2cm(コーヒーカップ)、
13.4×2.2cm(ソーサー)

曙窯 作(職人のブランドです)

虫明伝統の天然松灰を基調とした透明釉が掛かり、淡い若草色に正面は緑釉が程よく流れた落ち着いた色合いです。ソーサーはケーキやフルーツなどの小皿にも使えます。



窯変面取花入

サイズ/9.1×9.8×24.5cm

黒井博史 作

ロクロで筒状の花入を成形し、板で面を叩いてカンナで面取して現代的なフォルムを作っています。虫明伝統の灰釉を掛け、窯変と呼ばれる若草色や枇杷色が入り交じった色合いは魅力的で、上部には青白い乳濁釉と緑釉が掛かり、アクセントが効いたおしゃれな花入です。

必読事項

※作品は1点1点手作業により制作しています。画像はサンプル(一例)です。焼けなどにより色合いやサイズなど多少異なる場合がございます。
※贈答などでご利用の場合は、こちら梱包作業をして、送り先に発送できます(送料別途)。
※まとまった数のご注文は、在庫が足りない場合、ご注文を受けてからの制作となります。その場合、発注日より最低2〜3ヶ月(その時の制作状況や発注内容で多少前後します)程度のお時間をいただきます。



灰釉湯呑

サイズ/7.3×8cm

曙窯 作(職人のブランドです)

虫明伝統の天然松灰を基調とした透明釉を掛けた落ちついた色合いの湯呑です。樽形のフォルムは手に馴染んで使いやすく、昔から変わらないロングセラーです。



作家プロフィール



くろ い せん さ
黒井千左

岡山県重要無形文化財保持者(2011)
瀬戸内市重要無形文化財保持者(2009)
日本工芸会正会員(1991年認定)

- 1966年 京都市陶芸指導所(現・京都市産業技術研究所)修了
岡山県重要無形文化財保持者 父・黒井一楽のもとで作陶を始める
- 1981年 日本伝統工芸展入選、日本陶芸展入選(以降、入選重ねる)
- 2002年 岡山県文化奨励賞受賞
- 2007年 山陽新聞賞(文化功労)受賞
- 2019年 マルセン文化特別賞受賞
- 2021年 第64回日本伝統工芸中国展金重陶陽賞受賞(特別賞)



くろ い ひろ し
黒井博史

日本工芸会正会員(2018年認定)

- 1998年 松山大学経済学部卒業
山陽放送(現・RSK山陽放送)入社。営業部、報道部(記者)など、6年間勤務
- 2006年 京都市産業技術研究所工業技術センター本科修了、
父・黒井千左のもとで作陶に入る
- 2010年 第57回日本伝統工芸展初入選(以降、11・13・18・20年入選)
第53回日本伝統工芸中国支部展初出品初入選(以降、連続入選)
- 2018年 第61回日本伝統工芸中国支部展岡山県知事賞受賞(以降、20年同賞受賞)
虫明焼×ANAクラウンプラザホテル岡山コラボ企画
「OKAYAMA EAST MUSE DINNER(8・9月)」
フルコースディナーの器(全8種)デザイン・制作
- 2019年 第62回日本伝統工芸中国支部展岡山市長賞受賞
- 2024年 天皇皇后両陛下岡山県御訪問時、ホテルでのお食事の器として
皿・カップ・酒器などが採用される(ANAクラウンプラザホテル岡山)



作品のお取り扱い場所

虫明焼窯元ギャラリー(直営)、虫明焼窯元ホームページオンラインショップ、ANAクラウンプラザホテル岡山1Fウルバーノ、晴れの国岡山館、黒井山ゆうゆう交流館ギャラリー、備前長船刀剣博物館ふれあい物産館、寒風陶芸会館、天満屋岡山店ほか全国の百貨店(個展開催)など。
虫明焼窯元ギャラリーでは、各種クレジットカード、交通系ICカード、PAYPAY、auPAY、楽天など電子マネー決済がご利用できます。

ギャラリー見学、オンラインショップ、お見積りのお申し込み・お問い合わせは

むし あげ
虫明焼 黒井千左・慶雲・博史

〒701-4501 岡山県瀬戸内市邑久町虫明4493

☎0869-25-0413 営業時間 9:30~17:00(不定休)

ギャラリーは入場無料でどなたでも見学、お買い物ができます。

JR岡山駅より約40分(赤穂線邑久駅下車、邑久駅からタクシーまたは市営バス利用)



お問い合わせ
はこちら



HPはこちら

虫明焼 窯元

検索

<https://www.musi.co.jp/>

※窯や工房の見学は実施しておりません。

ご優待券

20%OFF

本券持参の方は、虫明焼窯元ギャラリー、ANAクラウンプラザホテル岡山1Fウルバーノ、黒井山ゆうゆう交流館ギャラリー展示販売品を定価より20%OFFにてお買い求めいただけます。
ご購入希望の方はこの券をご提示ください。

